

どろ亀さん・ニコルさん追悼展関連企画「心のタネ」募集！（富良野市博物館「心のタネ」係）

博物館活動

投稿者：：

Posted on：2022-1-15 12:00:00

どろ亀さん・ニコルさん追悼展関連企画として以下の取り組みを行います。

どろ亀さん・ニコルさんの活動の目的は多くの人びとの心にタネをまくことでした。いつしか芽が出て、自然や森への関心が深まることを願って。考えや行動に結びつくことを願って。

思い出や映像、著書などを通じて感じた事、それがきっかけになったことなどエピソードをお寄せください。お待ちしております！

募集要項

内容はエッセイ（長短は問いません）やイラスト、写真などです。大きさは全体でA4サイズまでを基本とし、超える場合はご相談ください。

メール、郵送で受け付けます。氏名（ペンネームをご希望の場合は別途記入）・住所・電話番号を明記の上、富良野市博物館「心のタネ」係までお送り下さい。応募いただいた作品は返却しませんので、ご了承ください。

メールの場合

shogai-center@city.furano.hokkaido.jp

郵送の場合 〒079-1582 北海道富良野市山部東21線12番地

受付期間：一次締め切り2022年6月末までの到着分は追悼展会場で、以降はウェブサイトで公開する予定です。

受領確認のため、送信・郵送の際は別途電話連絡をお願いします（電話番号：0167-42-2407 富良野市博物館）。

応募いただいた作品は、ウェブサイト（近日公開）と追悼展で公開します。

どろ亀さん（高橋延清 東大名誉教授）：演習林の育ての親とも称され、長年にわたって「森の心」の普及活動に努めた。2002年逝去。

C・W・ニコル氏：ナチュラリスト・作家。長野県にある荒廃した森を見事に再生した自称「どろ亀さんのばか息子」。2020年逝去。



【展覧会について】

題名：森の心、そして祈り ～どろ亀さん・ニコルさん追悼展～

主催：森づくりの仲間たち協議会・富良野市博物館

出会った時から心が通い「ばか息子」「ばか親父」と誇らしげに自称していた二人。今年はどうどろ亀さんの没後20年、改めてどろ亀さんの記憶を掘り起こし、二人の足跡、功績が未来の環境保全につながるよう、次世代のバトンになるような追悼展です。二人は人びとに何を遺し、何を願っていたのか？いっしょに考えてみませんか？